

発行 / 社会福祉法人あぶくま福祉会 就労継続支援B型事業所 ほとほら授産所

〒960-0657 伊達市保原町字中瀬町 100 Tel/fax 024-575-4355

10月の主な行事

- 10月2日(月) 利用者さん健康診断
- 6日(金) 10月生まれ利用者誕生会
9月分工賃支給日
- 14日(土) 土曜利用日

10月誕生日のみなさん

おめでとうございます

大橋治子さん 菅野カツヨさん

誕生日おめでとうございます。誕生会は10月6日に行います。お楽しみに！

中秋の名月 お月見会開く！



月が出てくるのをみながら「♪月」を歌う利用者の皆さん

9月は年間行事で研修旅行の予定でしたが、今年も保護者会役員会で中止の決定がありましたので、ほとほら授産所ではその代替行事として9月29日「中秋の名月」の日に合わせて「月が出る前のお月見会」を開きました。

初めにこの日の週番長 松浦広貴さんが「これからお月見会を開きます」と開会のことばがありました。続いて、中木所長から中秋の名月のお話があり、お月見の風習は平安時代にはじまり、現代に受け継がれ秋の澄んだ空気の夜空の月をながめ、お供えをあげ農作物の豊作を祈り、収穫への感謝を表す意味合いがあることなどのお話を聞きました。



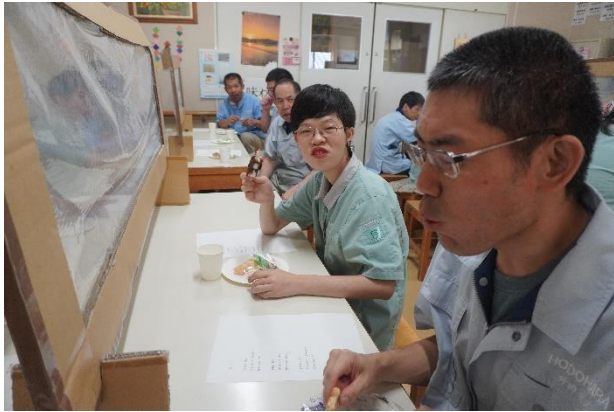
松浦さんが開会のことば



お月見の話をする中木所長



乾杯の発声をする熊坂さん



続いて、みなでお月さまの歌を歌いました。歌と同時に、お月さまが正面に現れました。歌い終わってお月様が出たところで、熊坂友輔さんの乾杯の音頭で、お月見（?!）会食が始まりました。飲み物とお月見あんこ団子とせんべいを、みんなでいただきました。食べた後、武田忠さんが、閉会の言葉を述べておひらきとなりました。

コロナ禍の収束がみられない中、外出行事自粛の代替行事で、施設の中ではありましたが、中秋の名月の日、「月の出」前のお月見会、有意義なつどいとなりました。



お月見だんごとせんべいをいただく利用者さん(上の写真4枚)



閉会のことばを述べる武田さん

シリーズ 作業班訪問④ 農耕園芸班

作業班の活動の様子をご紹介します作業班訪問、最終回は農耕園芸班の皆さんです。

農耕園芸班の作業は、花苗の育成と苗の販売です。種まきから苗の育成、ポット植え替え、花苗ポットの販売まで一貫して行っています。



暑さ寒さに耐え、一生懸命作業に取り組んでいる農耕園芸班のみなさん



ポットに苗を植えかえる利用者さん



苗植え後の水やりをする利用者さん



ポット再利用するためきれいに磨く利用者さん

農耕園芸班では、現在、パンジー・ビオラ・つりがねそうの栽培を行っています。

今夏7月下旬以降、最高気温が35℃を超える猛暑（30℃を超える日）が彼岸まで続きました。この猛暑により、秋栽培の花苗に大きな影響が生じています。高温による発芽不良・生育不良が見られ、育たないうちに開花する苗や途中で枯死する苗も大変多く、製品価値がない状況となっています。再播種による試みをしてありますが、相当の生育遅れが予想され、製品として販売可能となる時期の見通しが立たない現状です。

今年度も、新型コロナウイルス感染症の増加により、あぶくま祭りが中止となりました。代替行事として「秋の花市ウィーク」を計画しておりますが、開催は未定です。

このような状況下でも、利用者の皆さんは、熱心に自分の作業に取り組んでおります。

暑さ対策として、その日の予想気温にあわせて、休憩時間を長めにとり、早めに作業を終えるなどの健康管理に努めました。気候変動が激しい自然環境下でも、利用者皆さんが育てた花苗は、必ず丈夫で長持ち！します。

（農耕園芸班担当：佐藤典昭サービス管理者）

合同保護者会役員会であぶくま祭中止を決定



会議であいさつする池田会長（前列中央）

8月31日、ほどはら授産所とだての郷の合同保護者会役員会を開きました。

会議の協議議題は、秋のあぶくま祭、秋の研修旅行の開催についてです。あぶくま祭は、これまで4年間新型コロナウイルス感染拡大により開催自粛、今年5月の感染症分類が5類に変わったことで実施できる見込みもありましたが、8月下旬の感染者定点調査において、陽性者の増加傾向が見られ、実施について協議を行った結果、本年もあぶくま祭と、各施設で行う研修旅行は中止することにしました。

利用者の皆さんたちの旅行への期待もありましたが、各施設では行事中止の代替え行事を持つことになりました。保護者の皆様のご理解賜りたく、どうぞよろしくお願いいたします。

関連してお祭り前に施設周辺の清掃奉仕作業を行っていましたが、今年はスズメバチの活動が活発で植込みに巣を作っている恐れもあり、安全を優先させ中止することにしました。役員の皆様には慎重な審議ありがとうございました。

火災想定し避難訓練行う



けむりを吸わないよう避難する利用者さんたち

9月21日、ほどはら授産所では火災発生を想定して避難訓練を行いました。

午前中の休憩前の時間に機械室から火災が発生した想定で行いました。

出火のサイレンと放送によって職員の避難誘導で、利用者さんたちは倉庫西側広場に避難する訓練を行いました。利用者の皆さんは落ち着いて、煙を吸わないように鼻をマスクのうえから押さえ、所定の場所に避難しました。火災は常日頃からの予防活動で防ぐことができる災害であり、この訓練を通して防火意識を高めていただきました。

編集後記 / 暑さ寒さも彼岸まで、本当にその通り、気温が下がり、やっと秋らしくなってきました▼9月29日が、中秋の名月ということで、研修旅行代替行事の一つとして、お月見会を企画してみました。日中の行事でちょっとピンときませんが、みなさん、月（張り子）とススキを見ながら団子を食べ、満足そうでした。お月見は十五夜のあとに十三夜もあります。お月見は両方見ないと片見月と言って縁起が良くないという話がありましたので、十三夜のお月見会も企画したいと思います。日にちは27日金曜日です。お楽しみに▼今年は猛暑、その影響が農耕園芸班の花苗生育に大きく現れました。そのためパンジーは一般販売ができない状況になりました。残念ですが、皆様にはご了承いただきたいと思います。これから肌寒くなります。お体ご自愛のうえお過ごしください。ではまた。
(M)